



【第12回 COBRAゼミナール】

特定非営利活動法人
建設副産物リサイクル促進機構

日時：平成18年7月26日(水) 18:00~19:30

場所：文京シビックホール 会議室2

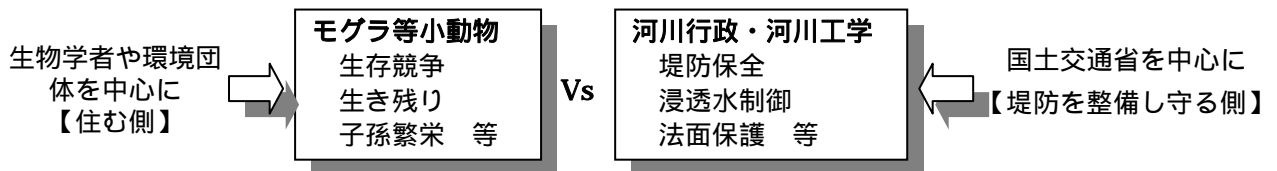
講師：環境エンジニアリング(株) 企画部 部長 山口隆志

演題：『モグラの生態』 - 多自然型川づくりの勝手な提案 -

内容：～モグラ等の小動物も生息可能な多自然型河川堤防の調査研究～
この調査研究は、NPO COBRA の自主研究の中の一つであり、助成金を受け行ったものである。
モグラについても少し知って欲しい！



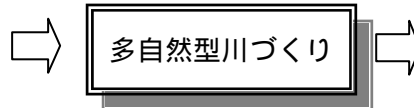
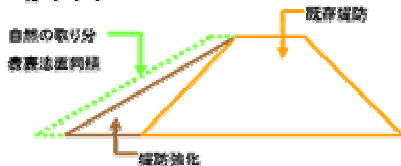
1. 河川堤防での一つの攻防戦



2. 多自然型川づくり

モグラ等の小動物も生息可能？

- ・ 自然の取り分: 力学や水理学から決まる断面に小動物の生息域を付加することはできないか???



多自然型川づくりの5つのポイント

- ・ 多様な河川環境の保全・復元 → **モグラも棲める**
 - ・ 連続した環境を確保
 - ・ その川らしい生物の生息
 - ・ 生育環境を保全・復元 → **自然の取り分**
 - ・ 水の循環の確保
 - ・ 市民、学識経験者、関係団体等の理解と協力 → **NPOの参加**
- これらの考え方からすると、モグラ等の小動物との共存・共生も十分に検討の余地があるものと考えられる。
淀川河川事務所では、事例紹介を行う場として「多自然型川づくり担当者会議」を開催

3. 実際の堤防管理

- ・ モグラにとって棲みにくい環境造り 排除
 - 除草
 - 堤体締め固め、法面強化
- ・ 点検項目に挙げられる「モグラ等の小動物の穴」
目の敵 昔から『蟻の一穴 云々』
 - 点検強化
- ・ モグラ生息不適地盤条件とは？
 - 硬くて、餌がない

5. 残された課題

- ・ 河川管理者の生の声ヒアリング
- ・ 河川堤防法面の実調査
- ・ その他の小動物調査
- ・ 小動物も生息可能な多自然型河川堤防の断面の具体的提案
- ・ NPO としてやりうるビジネスモデルの構築

4. モグラについて

分類・生態・生息場所などの調査



質疑：鉄粉とモグラの相性、モグラの天敵等について活発な質疑がなされた

参加者：会員：14名、非会員：2名 合計 16名 (交流会参加者：11名)

資料：質問がある方は、下記にご連絡ください。

担当：鈴木 TEL: 03-3872-6064 e-mail: k.suzuki@kotohcorp.co.jp